

豫洲短板産業の事業承継を通しての 森家に受け継がれる思い

森 晋 吾

豫洲短板産業株式会社 代表取締役社長

1. 創業

祖父である森義正は出生地である愛媛県八幡市で 1933 年に 20 歳で創業し、時代の状況に合わせながら事業を変化させ戦後にステンレス鋼材の需要拡大を予感し 1960 年豫洲短板産業（よしゅうたんぱんさんぎょう）株式会社を大阪で設立しました。私はその会社を 2008 年 10 月、創業 75 年目に三代目として引き継ぎました。当時 35 歳でした。社名にある豫洲は創業者の出身地の名前であり、短板は事業体を表現した造語です。ステンレス鋼材を取り扱う中でお客様に必要な量を小口で販売するというを業界初でサービス化し短い板を販売するという言葉で表現したのです。

戦後にステンレス鋼材は世界的に使われる金属となり生産量も需要量も順調に伸びていきました。成長産業となったステンレス産業はステンレスを専門的に作る鉄鋼メーカーと流通会社が協力する形で日本の高度経済成長の波に乗り大きく成長を遂げてきました。創業者である森義正はステンレス鋼材流通企業の社長として大阪を拠点に日本全国に販売先を確立していきました。流通企業の業界連携を大切に思い業界全体の発展に貢献しました。

2. 事業承継

2 代目の森清市が社長に就任したのは 1983 年バブル景気真只中でした、その後バブル景気はじけ日本の景気低迷が続きましたが、そのような中ステンレス需要は日本だけにとどまらず、韓国・台湾・中国での需要も高まりアジア唯一のステンレス生産国であった日本は大きく生産量を伸ばしていきました。豫洲短板も日本国内の需要だけではなく台湾向けの輸出を順調に伸ばすなど業績を拡大していきました。2 代目の時代は産業全体が成長していく中で需要の取り込みと利益体質の構築に取り組んでいきました。1973 年にコンピューターを導入し業務の効率

化を図り一人でこなせる仕事量を増やすことでサービス面での充実を実現させました、先行したIT投資が業界をリードするポジションを確立することにつながりました。2000年以降は日本での需要が頭打ちとなる中で韓国・台湾・中国でもステンレスの生産が盛んとなり日本でのステンレス生産量は落ち始めます。近代的な産業には必要不可欠となったステンレスはリーマンショックでの需要減退は一時的に発生しましたが東南アジア諸国の経済発展にも後押しされ世界的な需要はさらに伸び続けます。3代目として社長に就任してからの私はアジア圏での需要に対応するため2010年から海外に拠点を作りアジア圏での事業展開を始めました。

3. 信頼と感謝

ステンレスという金属素材の未来を想像した初代、コンピューターの時代を想像した2代目、グローバル化を想像した3代目。常に時代を先読みして変化してきている歴史が豫洲短板にはあると思っています。社長としてやるべきことは次の代につなぐことであり、次の代がその個性を十分に発揮できるように会社としての基盤を作り新しいことへチャレンジできる環境を用意することだと教えられました。2代目も3代目の私も社長就任してからは先代から口出しをされることなく新しいことにチャレンジさせてもらいました。自分にしかできないことを模索し時間をかけて実践することで形作ってきました。そこには渡す側の後継者を信頼する度量と受ける側のすべてのことに感謝ができる素直な気持ちが必要です。幼少より私が教わってきたことの根幹がこの信頼と素直さであったと理解しています。



関西ファミリービジネスのBCM と 東アジア戦略

2021年9月4日
豫洲短板産業株式会社
代表取締役社長 森 晋吾

YOSHUグループの概要

- 代表者 森晋吾（創業家3代目）
- 創業年 1933年（二宮金物店）
- 売上高 グループ総額売上200億円
- 事業会社 100%関連会社5社 合併7社（正確な連結決算は未実施）
- 事業内容 金属材料卸、金属加工、人材
- 従業員数 500人（派遣200名含む）
- 上場区分 未上場
- 本店登記地 大阪市中央区南船場1-4-11 モリビル
- 企業倫理 「義」

倫理/ビジョン

倫理

「義」＝独り占めしない、競争ではなく共に働く

理念

つながり愛

ビジョン

需要と供給を最短でつなぐことで無駄を省き社会全体を豊かにする

ミッション

サプライウエブの中心で世界をつなぐ架け橋となる **Be Well Off YOSHU**

3

豫洲短板産業 理念

Be Well Off ～ともに豊かに～

経営理念

わが社はお客様に喜ばれる最高の商品とサービスを提供し、
全社員の物心両面の幸せを追求すると同時に社会の発展に貢献する

行動指針

私は皆様に喜ばれる仕事をします
私は皆様に信頼される仕事をします
私は皆様に感謝して仕事をします

事業内容

メイン事業 ステンレス鋼材流通企業

2008年のリーマンショック以降

鋼材流通企業のアジア展開

同時に新しい事業展開として

人材関連企業 と ものづくり企業 を展開している。

なぜ？ステンレス流通以外の事業に取り組むのか

2000年～2003年に感じたこと

人口の変化 日本の課題と世界の課題は真逆このギャップは面白い

中国の人口増加 消費の拡大 経済成長 安い労働力

日本の人口減少 需要減退 労働力不足 採用難 外国人労働者の活用

業界の変化 日本の鉄鋼メーカーが1社になるのでは！

鉄鋼メーカーの合併（JFEスチールの誕生） 中国鉄鋼メーカーの増産

鉄鋼技術の海外流出

最初に作ったビジョンがグローバル展開だった

世界規模で需要が伸びるならその市場で商売しなければ

海外展開

海外で商売をするなら言葉の壁や文化の壁が課題になる

人材が必要 将来的には外国人の採用

流通業だけではローカル企業との差別化は難しい日本の強みである技術が欲しい

エンジニアリングへのチャレンジ

特徴のある取組み

- 社風づくり
大家族 家族イベント（クリスマス、夏祭り）、子供へのクリスマスプレゼント（YOSHUサンタ）
離職率 2%以下
- 採用
新卒 凄いい人は必要ない、入社してから凄いい人になればいい
中途 未来を共に追い求めてくれる人
- 福利厚生
産休育休の取得推進、男性の育児休暇取得も多数
若年既婚者優遇手当
お米の配給、食べ盛り支援（18トン）

CSR(corporate Social Responsibility)

- ・自然保護団体 日本熊森協会への寄付
- ・障害者施設 水仙福祉会（風の子育ち園）への寄付
- ・アスリート採用（陸上 中司菜月）
- ・アスリート支援（FC大阪、奈良ドリーマーズ）
- ・お米を主食にプロジェクト（奈良県別所町）
- ・中国少数民族イ族への学費支援（涼山）
- ・YOSHUホール 若手音楽家の発表の場を提供する
- ・YouTubeチャンネル「SHINGO見聞伝」

社会を変革するリーダーを育てるため、これまで経営者として培ってきたことを動画にして発信する

HISTORY

1933 7月 森義正、東洋通商銀行を以て 機械工場及び金物店 創業

1937 7月 八幡金属物産 設立

1941 4月 豫州産業(株) 設立(資本金100,000円)

1948 6月 大塚建設所 開設(資本金200万円)

1950 7月 大塚石炭店土物卸株式会社(株) 設立 (資本金1,000万円)

1954 7月 資本金2,500万円に増資

1957 4月 本社及び工場を豫州地区関係農工移転

1970 7月 資本金4,800万円に増資

1983 11月 青森支部、梅津支店開設

1985 8月 松山支店開設

1989 11月 松山建設事務所、 新事業部「新工場を新築・竣工

1991 4月 東京支店開設

1996 5月 本社及び工場を豫州地区 中興工業団地に移転

2000 7月 ISO9002(1994年版) 取得

2001 4月 松山建設所を売却し閉鎖

2006 10月 青森支部、梅津支店閉鎖

2010 6月 上海汎舟金属制品有限公司 設立

2013 2月 YOSHU (THAILAND) CO.,LTD. 設立
10月 青森一環鋼性鋼材店
11月 V-STAINLESS STEEL CO.,LTD. 設立

2015 10月 東京支店 閉鎖
12月 八幡金属物産 閉鎖、八幡製鋼所 閉鎖

2016 1月 上海汎舟金属制品有限公司 設立

2018 5月 F4 事務所 閉鎖
7月 ISO9001(2015年版) に更新

2019 10月 YOSHU CS METAL WORKS CO.,LTD. 設立
12月 F1-F3 工場閉鎖 閉鎖

2020 11月 東京支店閉鎖(静岡) 閉鎖(山梨) 閉鎖

もうすぐ100周年
3代にわたって走ってきました!

創業75周年記念式典

200周年を目前にして

KEEP RUNNING TOWARDS THE FUTURE

1933～1983年

森義正 1913年生まれ

家族の生活を守るための仕事 守る人がどんどん増えていく 兄弟
親戚を巻き込んで

支援者との別れ 感謝の念とけじめ ステンレスとの出会い 大阪
への憧れ

11

1983～2008年

森清市 1941年生まれ

会社と共に生活 生まれながらの後継者

会社の発展と共に成長 新しいものへの憧れ 自分らしさの追求

コンピューター導入

12

2008年～

森晋吾 1973年生まれ

創業者と生活を共に 会社と生活は分離 会社イベントなど会社関係者との接点は強い

業界関連で5年間修行 社長就任に向けて5年間の準備期間 海外展開が生命線

13

幼少期～学生期

育てられ方

後継者としての自覚 会社にはファミリーイベントが有る 社員とのコミュニケーションのための開催 オーナー家が従業員とその家族をもてなす会 社員の子供と一緒に 挨拶はみんなに対して立礼 従業員みんなからの期待が自然と自覚させる

14

承継前

社長としての準備

引き継ぐ時期は早くから決められていた**29歳**のころ**40歳**で社長交代の話をしていた

その一年後、叔父が急死したことで**35歳**で社長就任することが決まり準備を始めた

2008年以降100周年に向けてのビジョン作り 自分のブレンづくり (シャドー内閣)

15

承継後

2世代後まで続くビジネスを作る イノベーションの目的 流行りものではなく 根を育て幹を作り続ける 花が咲くのは過去の功績
60年後に必要なことに対して何が出来るのか

16

現在

時代の流れをよむ
真のグローバル社会の到来
社会構造の変革
社会に必要な存在から無くてはならない存在へ

17

事業ビジョン

変遷
業界ニッチ
高付加価値商品
更にニッチ
アジアの**YOSHU**

18

TEC企業YOSHUの未来像

世界の需要と供給を網羅することで
世界をつなげる架け橋となり
最適な社会を作る企業

19

次世代に向けて

4代目だけでなく5代目を見据えた事業モデルづくり
200年を見据えて100年を迎える

20

ウラ話

○理念の継承 家庭内での話

社員との関係性 お給料を渡すときは感謝の言葉を添えて 出勤してくれるだけで有難い

現状維持は衰退

○一族経営で上手くいっている要因

祖父の言葉 いい会社を遺す 遠慮がうまれて無茶が出来ない 役割分担が出来ている 事業成長により役職が増える

○東アジア戦略 反対意見などのエピソード

撤退基準 社員の踏ん張り

BE WELL OFF
YOSHU

YOSHUグループの現状と未来



GROUP OUTLINE

グループ概要



鋼材流通事業のご紹介

1, 豫洲短板産業株式会社 (日本)

ステンレス鋼材を中心とする一次商、ステンレス鋼材のデパートとして日本一の品揃えを持つ

在庫販売、日本全国に販売先を有する問屋

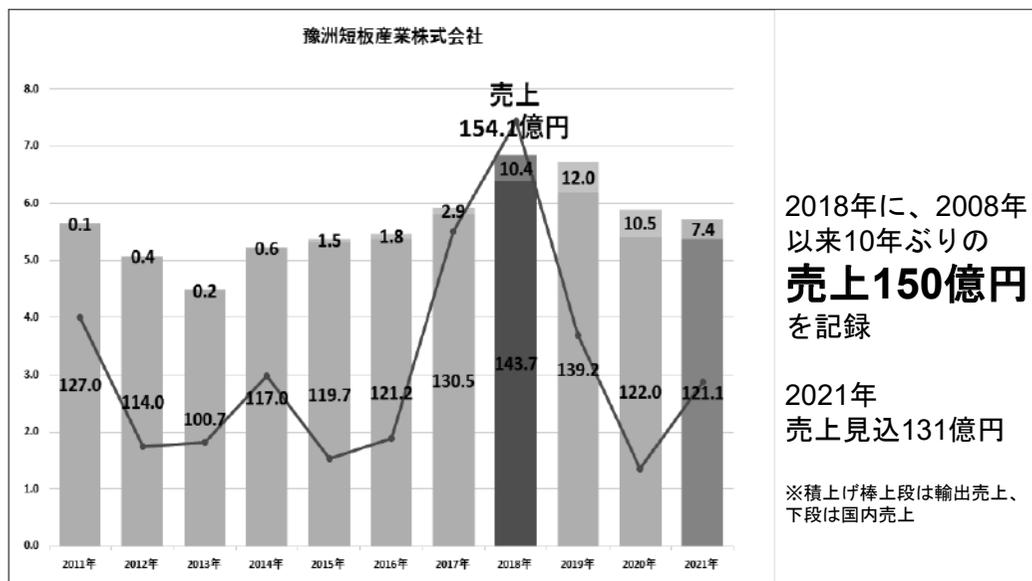
2, 上海友秀金属貿易有限公司 (中国)

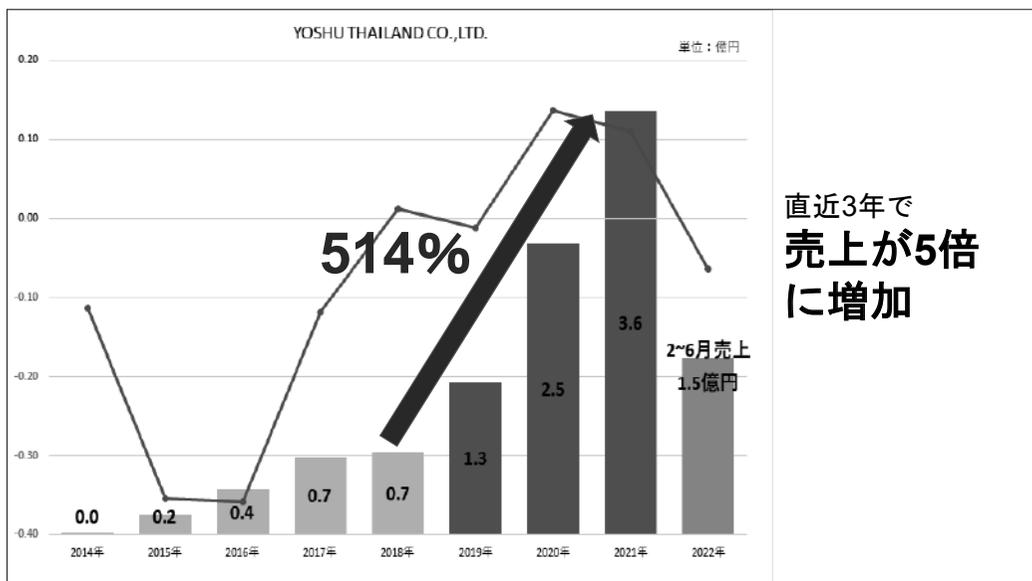
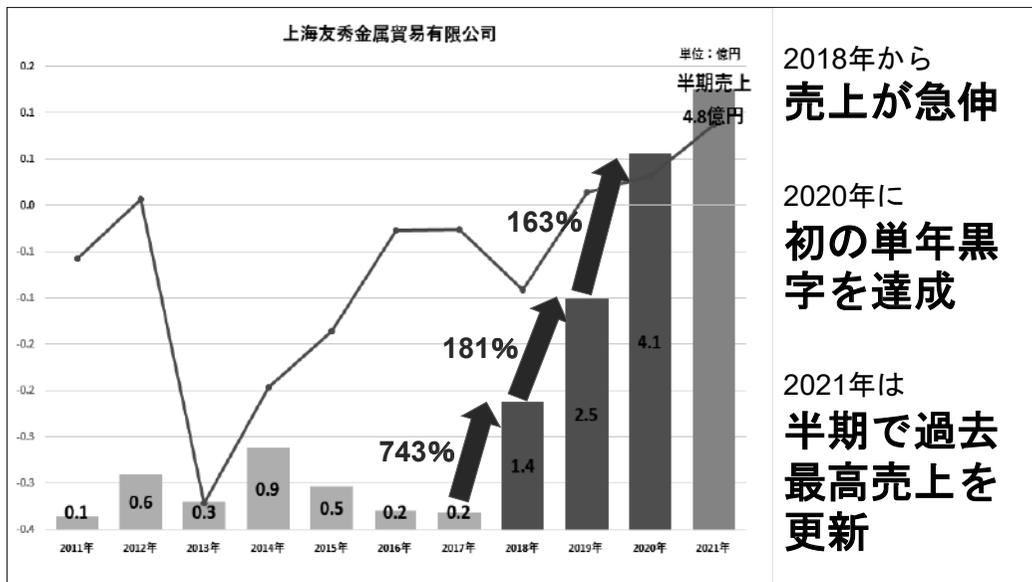
中国国内及び中国製品の国外輸出

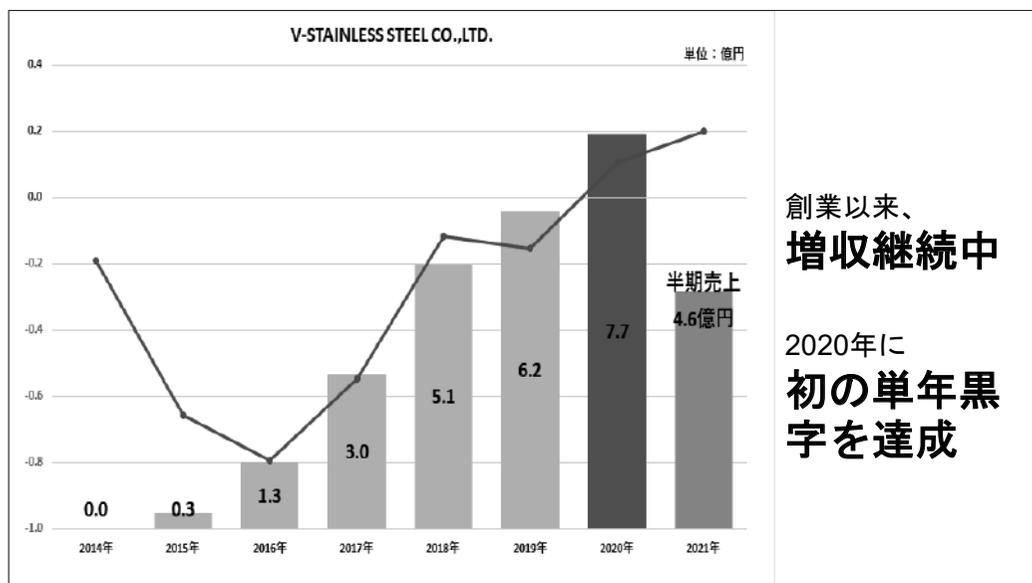
3, YOSHU THAILAND (タイ)

タイ国内中心にステンレス鋼材を販売

4, V-Stainless Steel (ベトナム)







豫洲短板産業のこれから

世界中の材料を世界中に提供できる仕組みをつくる

- ・取扱商品の拡充
- ・販売方法の多角化
- ・新体制の構築
- ・システムの進化と豫洲システムの利用者拡大 業界のプラットフォーム

上海友秀

中国材の世界販売

中国メーカーの取引拡充

日本での販売強化のタイミングを狙う

中国国内での拠点展開

31

YOSHU THAILAND

ASEAN市場のセンター機能

タイ市場での取引拡大

ASEAN諸国への販売強化 後に拠点展開

32

V-Stainless Steel

ベトナム市場でのシェア拡大

北部の拠点拡充

中部への拠点展開

ベトナム国内のインフラ投資を獲得していく

33

BE WELL OFF
YOSHU

関西ファミリービジネスの**BCM**と東アジア戦略

ご清聴ありがとうございました

豫洲短板産業株式会社 森 晋吾

